学校番号	3030

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『新詳　地理探究』（帝国書院）・『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	『最新地理図表　GEO』（第一学習社）・『地理統計要覧』（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は様々な分野が関わり合うため、学習が進むにつれて、連鎖的に学習内容がつながっていくというところに面白さがあります。そこで重要になってくることが、地理的な見方・考え方(①位置や分布、②場所、③人間と自然の関わり、④他地域との結び付き、⑤地域の特徴)を意識することです。そうすれば、各分野の知識が断片的なものでとどまることなく、横断して体系的につながっていくことを実感できることと思います。地理の学習は、世界各地で生起している地理的事象の謎解きです。今後新しく学習する単元についても、「地理総合」で学んだことも活かしながら、地理的な見方・考え方で理解を深め、「謎解き」をぜひ楽しんでもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

・　地形、気候、生態系などの自然的事象と、場所の特徴や社会的条件との関わりなど人文・社会的事象に着目して主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性・傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、諸事象の普遍的規則性や地域的傾向、世界の諸地域の地域的特色・課題などを知り、理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査結果や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、地域的特徴、人間と自然環境との相互関係、空間的な相互作用などに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、各地域で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や文化に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代世界の系統地理的考察	1　自然環境(地形)	a：世界の地形の空間的な規則性・傾向性、それらの形成要因等を、具体的な地形事例を通して、系統地理的方法で捉える視点や方法を身に付けている。大地形に関する資料を適切に収集し、プレートと火山、震源の分布などとの関係について読み取ったり、図表などにまとめたりしている。小地形に関する資料を適切に収集し、それぞれの形成要因と過程、土地利用との関わりなどについて読み取ったり、整理・分析して模式図などにまとめたりしている。地形図から地形や土地利用などを読み取り、適切に表現している。また、日本の地形を理解するとともに、領土・領域についても正しく理解する。 b：地殻変動がつくる大地形について、その分布や形成要因、時代による分類を捉え、火山・地震との関係について考察し、その過程や結果を適切に表現している。河川、海岸、その他の特徴的な地形について、形成要因や特徴とともに、人々の生活との関わりについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：世界の地形に関する諸事象の分布や人間生活との関わりについての関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出プリント ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業(創造探究事業)への参加

後 期	現代世界の系統地理的考察	1　自然環境(気候)	a: 世界の様々な気候の空間的な規則性・傾向性、それらの形成要因等を、系統地理的方法で捉える視点や方法を身に付けている。世界の様々な気候地域の分布や特徴、人々の生活との関わりについての基礎的・基本的知識や概念を習得している。気候に関する資料を適切に収集し、降水量や気温、風等の気候要素に関する情報を読み取ったり、比較・分析して気候の地域的犠牲を図表にまとめたりしている。雨温図やハイサーグラフを作成し、気候区を判定することができる。世界の自然環境に関する分布図や統計資料、写真を活用し、その特徴について分析することができる。 b: 気候因子の影響を受けて、気候要素がどう変化し、気候の地域的特性がどのようにあらわれるのかを、系統的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。各気候区の判定基準を理解したうえで、気候地域の分布と特徴について考察し、その過程や結果を適切に表現している。各気候地域にみられる生活・文化や環境問題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の気候に関する諸事象の分布や人間生活との関わりについての関	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出プリント ・ワークシート ・外部施設見学や外部事業（創造探究事業）への参加

			心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。各気候帯の分布と特徴とともに、植生・土壌との関係性を捉え、人々の生活との関わりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し　、捉えようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度